

2014年4月17日  
株式会社野村総合研究所  
NRIサイバーパテント株式会社

## 技術・知財マクロ分析サービスで、英文特許の解析が可能に ～「TRUE TELLER パテントポートフォリオ Web サービス」を開始～

株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：嶋本 正、以下「NRI」）と NRI サイバーパテント株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高野 誠司、以下「NRI サイバーパテント」）は、テキストマイニング技術を活用して、特許文献等を解析できる、技術・知財マクロ分析サービス「TRUE TELLER（トゥルーテラー） パテントポートフォリオ Web サービス（以下、TTLPP-Web）」において、海外の特許や論文データの分析を可能とした、英語解析版の提供を2014年6月に開始します。

両社では、2013年2月から、日本語解析版の Web サービスを提供しており、今回はその対象言語に英語が加わったものです。英語解析版では、米国、欧州などの海外特許や、英語で記載された論文や各種文献データについて、日本語解析版と同様の手法で、手軽に分析することができます。

英語解析版の特長は下記の通りです。

### ■海外の特許や論文データの分析が可能に

近年の企業活動のボーダーレス化に伴い、日本企業等のグローバル出願率<sup>\*1</sup>は30%近くに達しています。企業では、海外における特許出願動向の的確な把握のため、海外の特許や論文情報を詳細に分析し、海外市場に向けた事業開発や研究企画、あるいは海外企業や大学・研究機関との提携戦略の策定に役立てることができます。

### ■NRI サイバーパテントデスク 2 との連係により効率的な分析が可能に

これまでの日本特許に加えて、今回、米国特許について、インターネット特許情報サービス「NRI サイバーパテントデスク 2（以下「NRI-CPD2」）」（ご参考を参照）の検索結果を直接、「TTLPP-Web」の分析対象として利用することができます。分析に使うショートカットメニュー等を充実したことで、効率的な分析が可能となっており、両社で測定したモデル業務の分析では、所要時間で従来比1/3～1/5を実現しています。

さらに、欧州特許や中国特許、国際出願（PCT 出願<sup>\*2</sup>）の英語データを、CSV データとして取り込み、分析することができます。

■SDI マップ配信機能により、国内外の自社の知財ポートフォリオを有効利用可能に

新着特許情報の自動検索結果（SDI<sup>\*3</sup> 検索）を、「TTLPP-Web」で設定した条件に基づいて分析した結果を、自社の知財ポートフォリオ<sup>\*4</sup>に関する図やグラフの形で自動作成し、社内に自動配信できます。これにより、社内での知財に関する情報共有が可能となり、事業戦略の策定に役立てることができます。

NRI と NRI サイバーパテントは、今後も、知財関連ソリューションの提供を通じて、企業における知財業務の効率化・高度化を支援していきます。

- \*1 グローバル出願率：日本企業等が国内特許出願のうち海外にも出願する比率（「特許行政年次報告書 2013 年版」（特許庁）より）
- \*2 PCT 出願：特許協力条約（PCT:Patent Cooperation Treaty）に基づく特許出願。ひとつの出願願書を条約に従って提出することによって、すべての PCT 加盟国に同時に出願したことと同じ効果を与える出願制度。2013 年 8 月現在、加盟国は 148 ヶ国。
- \*3 SDI：Selective Dissemination of Information（情報の選択的提供）の略。あらかじめ設定した条件に基づいて、新規に発生した文献データのみを対象に行う検索のこと。新着特許に関する自動 SDI 検索は多くの企業で定期的に行われている。
- \*4 知財ポートフォリオ：自社が保有する知的財産を「群管理」し、事業戦略・技術開発戦略に合わせて最適化を図ること。

---

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 十河、川越

TEL：03-6270-8100 E-mail：kouhou@nri.co.jp

【製品・サービスに関するお問い合わせ】

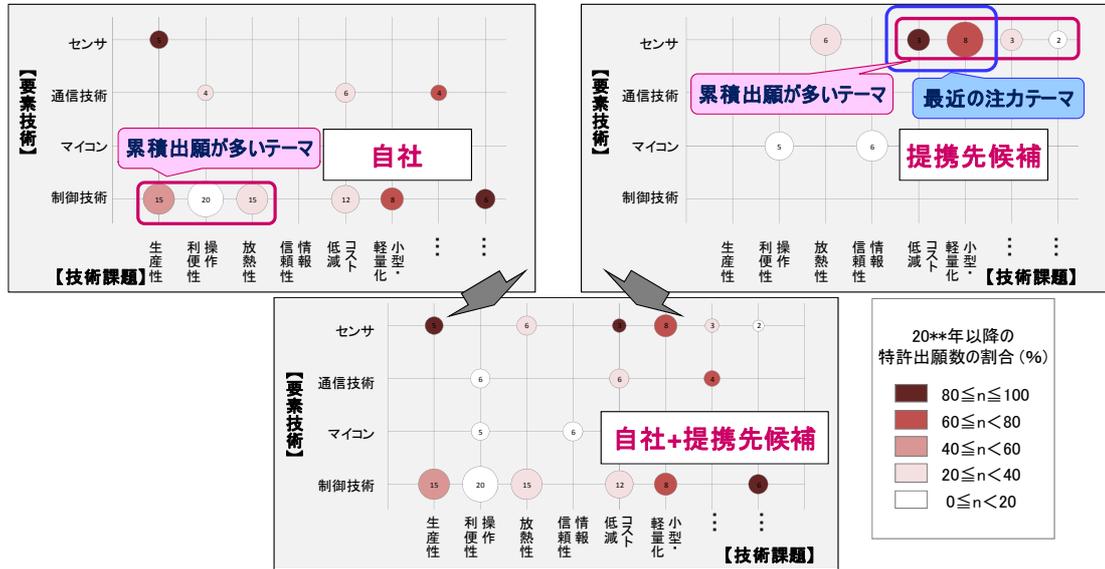
NRI サイバーパテント株式会社 知的財産コンサルティング事業部 渡邊、大島

TEL：03-5299-5050 E-mail：tlpp-info@nri.co.jp

---

【ご参考】

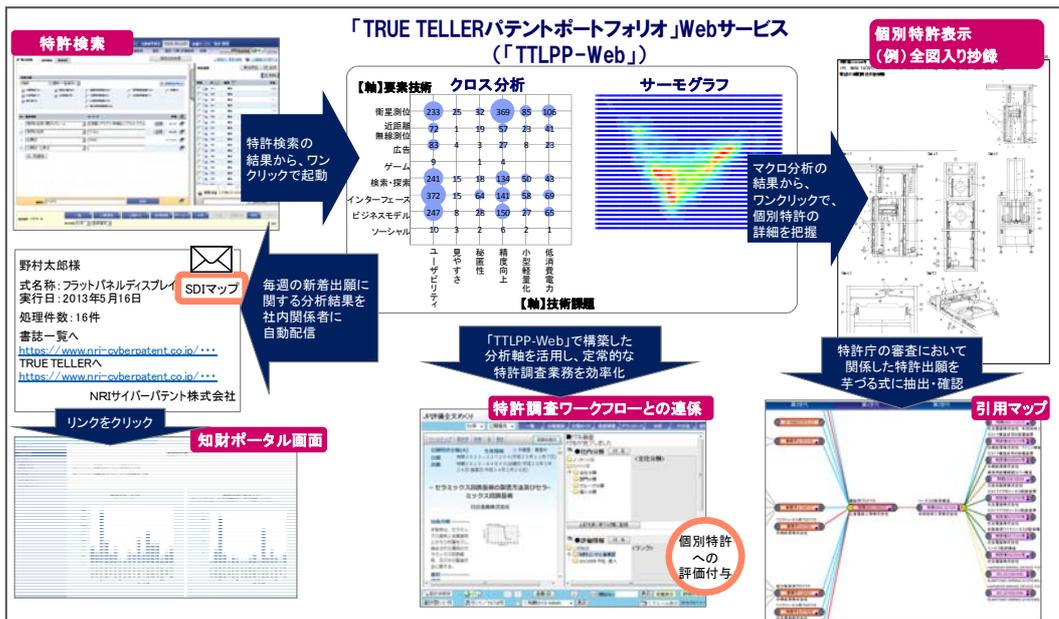
【図1】技術・知財マクロ分析結果の例（M&A や提携における技術的な補完関係の評価）



上記以外に技術・知財マクロ分析を行う

- (1) 技術動向の把握
- (2) 自社の強み・弱みの客観評価
- (3) 保有技術の棚卸～新たな用途展開の検討
- (4) 自社コア技術の客観評価～研究テーマポートフォリオの再編
- (5) 大学・研究機関における研究開発テーマの客観評価

【図2】「TRUE TELLER パテントポートフォリオ」Web サービスの全体像



【図3】「TRUE TELLER パテントポートフォリオ Web サービス」(英語解析版) 画面イメージ



● 「TRUE TELLER パテントポートフォリオ (TTL-PP)」について

NRI グループが開発・販売する、テキストマイニング技術を活用したソフトウェア「TRUE TELLER」シリーズにおいて、特許データを始めとする技術文献の解析と、解析結果の可視化に特化した製品。2004 年の販売開始以降、製造業を中心とする多数の民間企業や大学・研究機関の知財部門、研究企画部門において、事業戦略・研究開発戦略・知財戦略の策定・検証等の目的で利用されている。

詳細：<http://www.patent.ne.jp/service/macro/index.html>

● 「NRI サイバーパテントデスク 2 (NRI-CPD2)」について

NRI サイバーパテントが運営する、日本で最初のインターネットによる特許情報サービス。国内外の特許・意匠・商標などの情報を検索・閲覧でき、企業の知財部門・特許事務所はもとより、技術者・研究者・大学・研究機関の方々にも幅広く利用されている。(導入実績は約 3,000 社・機関)

詳細：<http://www.patent.ne.jp/service/patent/index.html>